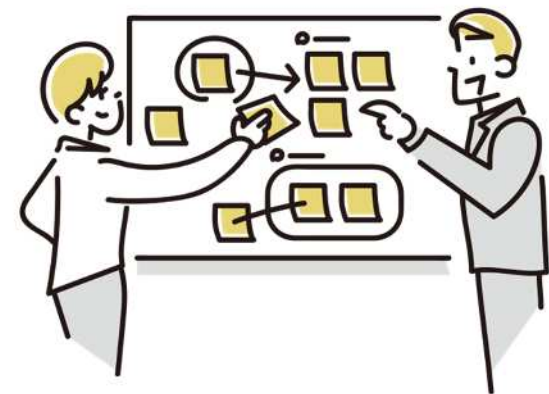


公立高校魅力化
松川高校 社会とつながる教室
プロジェクト

長野県 松川町



● 松川町のご紹介

松川町は人口約12,000人余りの町で、南アルプスと中央アルプスに囲まれた長野県南部に位置し、町の中央を天竜川が北から南へ流れております。

川の東西に段丘が形成され、東側には工業団地と水田地帯が、傾斜地では、水稻、畜産、小梅・さくらの栽培などが行われています。西側は、住宅地、商店街、工業団地が開けており、また昔から『果物の里まつかわ』として知られ、様々な果物が栽培されています。初夏から晩秋にかけて、サクランボ狩りやリンゴ狩りなどで賑わうなど、交流人口が増えてきています。

さらに、絶滅危惧種アカモズの貴重な繁殖地にもなっており、様々な団体と協働で環境保全を推進しております。



●「社会(企業や地域)とつながる教室」プロジェクトの背景とビジョン

物質的に「便利で豊かな時代」なかで、世界的にはエネルギー、資源、食料、人権など、多くの問題が未解決となっています。

日本においても人口減少・少子高齢化、また超スマート社会化による関係性の変容などから、人類が経験したことのない時代へ突入しています。松川町においても同様に、若者の人口流出が顕著になっており、地元「松川高校」の生徒数も年々減少しております。さらに高校授業料の無償化により、「公立離れ」が顕著です。

生徒数の減少により高校の統廃合が進み、その流れは松川高校も例外ではありません。地域高校の有無が人口に影響をもたらすことは、統計的にも実証されています。

「偏差値では測れない高校の魅力化」を創出するために、2024年より当該プロジェクトを試験的に実施し、社会とのつながりを武器に「やりたいことを形にできる人財」を育てています。

社会との交流を通じた「関係性」を創出し、「自立性」・「創造力」が培われるプログラムにより、未体験の時代に対応できる人財を松川町から発信していきます。

● 総合戦略と連動する2つのコアテーマ



多様なひととのつながり、
暮らしの価値を創造する

【基本目標2】

多様な関係人口を創出し、新たな時代に対応できる地域を創出していきます。



魅力ある人を育む

【基本目標3】

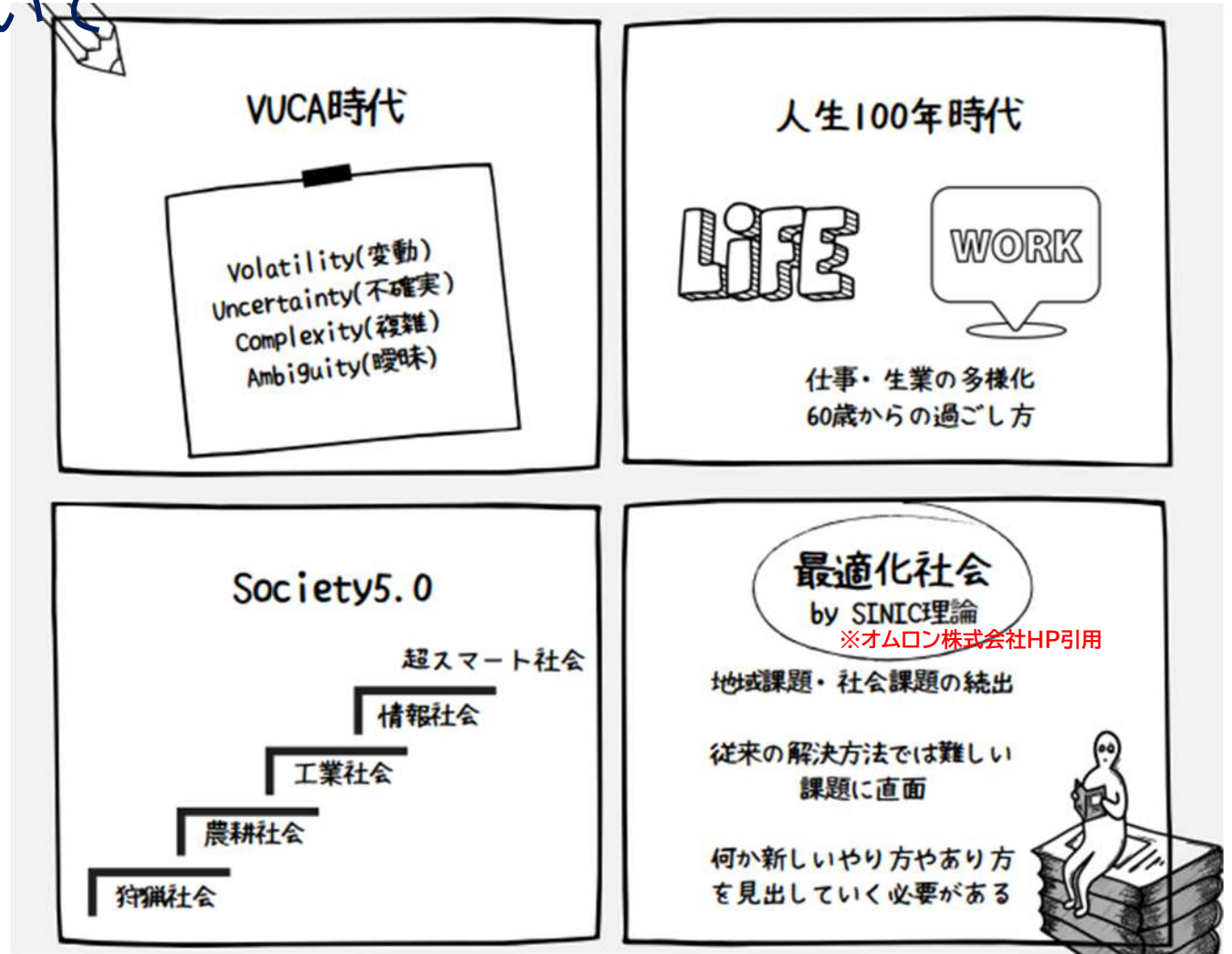
学校教育で習得した「知識」を、自然や人などの様々な関係性から「知恵」へ変換できる探究的な学びを実践していきます。



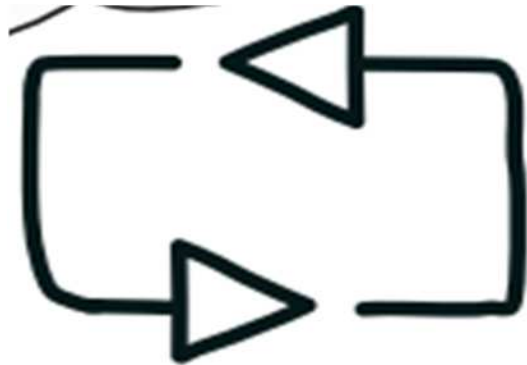
● これからの時代について

目まぐるしく変化し、本格的な人口減少時代へ

今まで経験したことのない社会課題が続出



● 新たな時代へ対応していくために



【Social innovation】

社会の在り方や仕組みを変えていく力

これまでのやり方を「改善」するだけでは解決の難しい問題ばかり
何か新しいやり方や仕組みに「変えていく」ことが必要



【Co-Creation】

地域や企業など多様な関係者と
共創する力

一団体でできることには限界がある
複雑化した社会課題に立ち向かうためには、
多様な関係者とじっくりコミットし、一緒になって取り組むことが大切

「自立・連携(関係性)・創造」がキーワード

● 松川高校の概要

| | クラス数 | 男 | 女 | 合計 |
|------|------|-----|-----|-----|
| 3 学年 | 3 | 65 | 44 | 109 |
| 2 学年 | 2 | 50 | 28 | 78 |
| 1 学年 | 2 | 47 | 33 | 80 |
| 合計 | 7 | 162 | 105 | 267 |

令和7年4月4日現在

長野県松川高等学校 令和7（2025）年度学校要覧より

● 松川高校の概要

私立→組合立→県立という稀有な高校歴

| | |
|-------|-------------------------|
| 昭和34年 | 塚原学園天竜高等学校設立（私立校） |
| 昭和40年 | 第37回選抜高等学校野球大会出場 |
| 昭和52年 | 経営移管により新法人による天竜光洋高等学校発足 |
| 昭和60年 | 組合立松川高等学校発足（公立学校へ） |
| 昭和62年 | 県立長野県松川高等学校開校 |

● 松川高校の概要

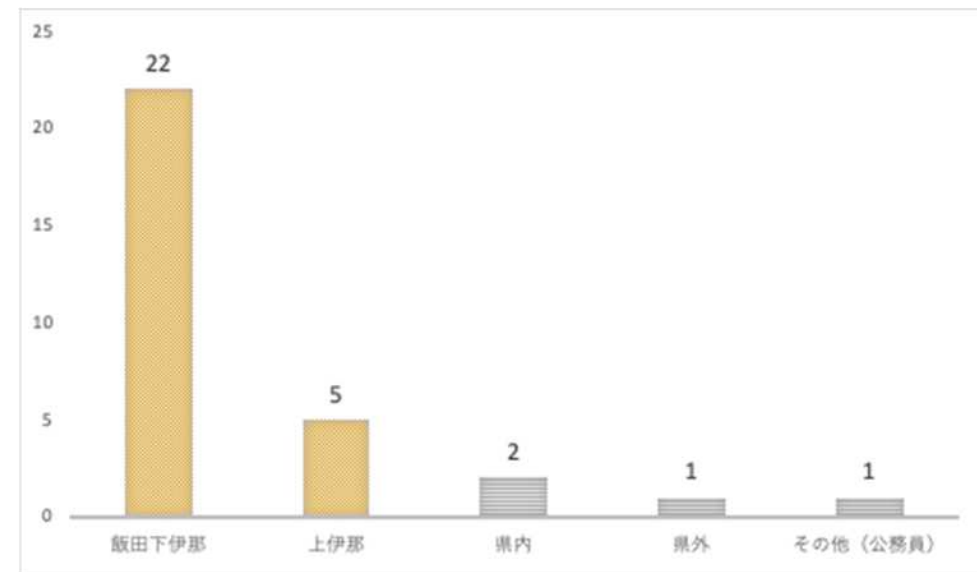
松川高校は卒業後の就職者数が多く、かつ地元地域へ就職する→**地元の将来を担う人材そのもの**

卒業後の進路状況



おおよそ半分近くが就職
2024年は進学割合が増加

就職者の地域別動向 令和6（2024）年度



80%以上が飯田下伊那・上伊那地域へ就職

長野県松川高等学校 令和7（2025）年度学校要覧より

●現在の日本教育

┃学校教育中心

○入り口が「課題」

・先にフレーム化されたプロジェクトがあるため、発展性・創造性が乏しい

○「答え」を求める傾向

・二元論的思考になりやすい

○「知識」中心の教育

・進学など必要な「知識」の習得が中心で、実社会に必要な「知恵」に変換する環境が少ない

● 社会とつながる教室プロジェクト

■ 実社会や哲学対話から育まれるリアル社会教育

○ ワクワクから育まれる主体性

- ・ ワクワクな出会いの連続により、自分の「好き」が発見できます。
- ・ ワクワクだから創造性が無限大です。

○ 正解のない「問い」を対話的に重ねる

- ・ 多元論的思考になりやすく、多様な選択肢が育まれます。
- ・ 自分の軸をつくることができます。

○ 「知恵」が育まれる環境

- ・ 「知識」を「知恵」に変換できる実践があります。
- ・ 実際に失敗しながらアクションすることで、自信を築きます。
- ・ やりたいことを形にするためのつながりを構築できます。

● 社会とつながる教室プロジェクト概要

授業のコンセプトと3つの柱

社会とのつながりを武器に
「やりたい」をカタチにする



“地域”が学びの
フィールド



仲間・地域の人
との対話が起点



“私”を主語に
実践

● 社会とつながる教室プロジェクト概要

「やりたい」をカタチにする3つのカリキュラム

① 出会う授業

興味を広げる
「好き」に出会う



② 深める授業

自分の軸を
つくる



③ やってみる授業

地域で実践する
社会で実装する



● 社会とつながる教室プロジェクト概要

① 出会う授業

目 標 自分のやりたいこと・好きなコトが見つかる

ゲストを招いての授業

- 地域人・起業家との出会い
- 自分の「好き」を発見する



● 社会とつながる教室プロジェクト概要

01 2025出会う授業 ゲスト一覧

魅力的な起業家や地域で活躍
する人たちと出会って、自分
の興味・関心を見つける

| | | | | |
|----|---------|------------------------|------------------------|--------|
| 01 | 清水 遼さん | 松川町役場産業観光課 | 森林資源の循環とふるさと納税 | 6/4 |
| 02 | 北沢 毅さん | マルカメ農園 | スマート農業 | 6/25 |
| 03 | 大倉 正治さん | (有) 工房大倉 | 人工衛星打ち上げプロジェクト | 7/1 |
| 04 | 西岡 春菜さん | マイノリティ研究所 (東京大学大学院) | 障害者雇用支援プログラム | 7/24 |
| 05 | 野口千英子さん | 女優 | 自己表現と自己実現 | 8/27 |
| 06 | 福田 裕美さん | (一社) ソーシャルコーディネーターかながわ | 「まずやってみるもののススメ」 | 10/29 |
| 07 | 川上 晃史さん | ソーシャル・イノベーションフィジー | フィジー×日本の取り組み | 11/5 |
| 08 | 土屋 岳詩さん | ソーシャルイノベーションdot. | 「どうすればできるのか」の思考 | 11/26 |
| 09 | 北原太志郎さん | (一社) GOKIGEN Nippon | 「Discovery8」 | 全10回開催 |
| 10 | 當麻 結菜さん | 長野県立大学健康発達学部 | 「どうしたら2年後の自分にワクワクできる？」 | 2/12 |



● 社会とつながる教室プロジェクト概要

② 深める授業

目 標 自分の将来の拠り所となる考え方や生き方の軸ができてくる

哲学対話 / ケーススタディ

- 正解のない問いを対話的に重ねる
- 全国や世界の様々な事例から学ぶ



● 社会とつながる教室プロジェクト概要

02 2025深める授業 哲学対話

正解のない時代。

そこで求められるのは
答えではなく
問いをみつけ深める学び。



| | | |
|----|--------------------------|-------|
| 01 | 「好き」「偏愛」って何? | 6/10 |
| 02 | 原動力って何? | 7/9 |
| 03 | 大人って自由? | 7/15 |
| 04 | どうやったら自由になれるのか | 10/9 |
| 05 | 私たちのベンチプロジェクトについて語ろう | 10/23 |
| 06 | 問いって何? | 11/13 |
| 07 | 生徒からの問い「なぜ学校は義務教育じゃないのか」 | 11/27 |
| 08 | 生徒からの問い「なぜ学校は義務教育じゃないのか」 | 12/4 |
| 09 | 2025年を振り返ろう | 12/25 |
| 10 | 目標は何のためにたてるのか | 1/15 |
| 11 | 努力って何? | 1/22 |
| 12 | カッコいい大人ってどんな人? | 1/29 |
| 13 | 対話はどんな意味がありそうか | 2/12 |
| 14 | 対話はどんな意味がありそうか | 2/19 |

全14回開催 講師：合同会社キキ 矢野叶羽さん

● 社会とつながる教室プロジェクト概要

③ やってみる授業

目標 やりたいことをカタチにする自信と実現するためのつながりを築く

プロジェクト型実践

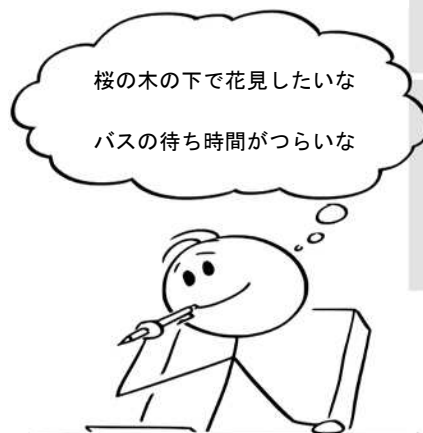
- 企画を形にするところまで
- 仮想空間ではなくリアルな社会でアクション



● 社会とつながる教室プロジェクト概要

03 2025やってみる授業 ーベンチを置こうー

松川町の森で育った100年ヒノキ
それを地元の職人ともに
ベンチにする。
どこに、誰のために置くのか。
問いはものづくりから始まった。

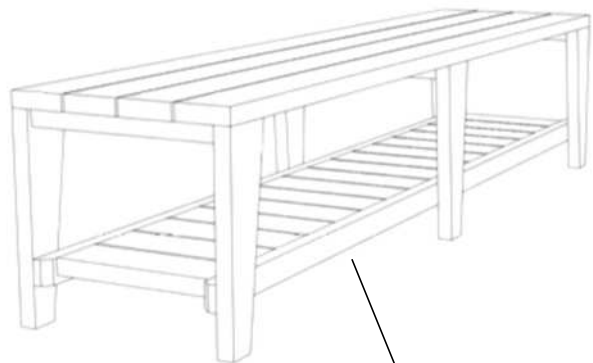


| | |
|--|---|
| <p>phase 1</p> <p>6/4-6/11 (3回)</p> | <p>学ぶ・出会う</p> <p>松川町の森と100年ヒノキ/世界のベンチ調査/職人チーム顔合わせ</p> |
| <p>phase 2</p> <p>6/18-6/26 (3回)</p> | <p>考える・設計する</p> <p>アイデアだし (3回) → 図面製作/「どこに置く?」の問いと対話</p> |
| <p>phase 3</p> <p>7/2-9/18 (9回)</p> | <p>つくる</p> <p>307号空き教室が工房へ。職人と並んで測る・切る・組む。夏休みを挟んで継続</p> |
| <p>phase 4</p> <p>10/8-10/16 (3回)</p> | <p>仕上げる・設置する</p> <p>塗装2回→設置場所へ。ベンチに名前を刻んで完成 (全18回開催)</p> |

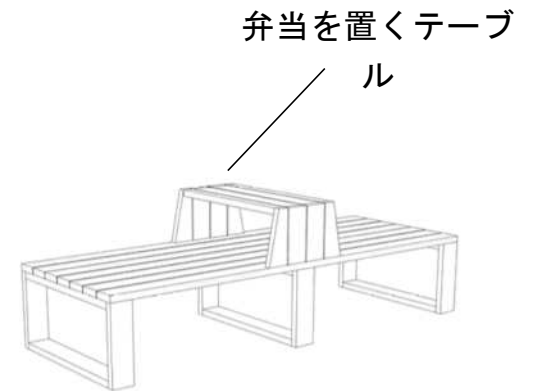
講師：(株)ヤマキチ木材(材木屋) 平澤達也さん
tunnelworks(家具屋) 中田裕明さん
四宮建築(大工) 四宮陽我さん

● 社会とつながる教室プロジェクト概要

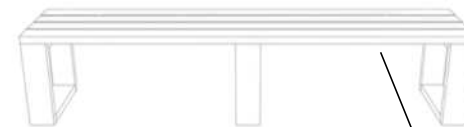
座るだけではないベンチとは？



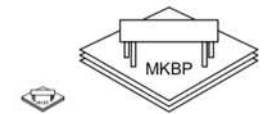
下に荷物が置ける



弁当を置くテーブル



両側から座れる



● 社会とつながる教室プロジェクト概要

教室が、工房になった



木を切る
のこぎりを手に、初めての木工



寸法を測る
図面と睨めっこしながら墨付け



組み立てる
電動ドリルで部材を固定していく



名前を刻む
仕上げに焼き印。自分だけの一脚に。

● 社会とつながる教室プロジェクト概要

そして、ベンチが完成



ランチベンチ

● 社会とつながる教室プロジェクト概要

2026 年やってみる授業の挑戦

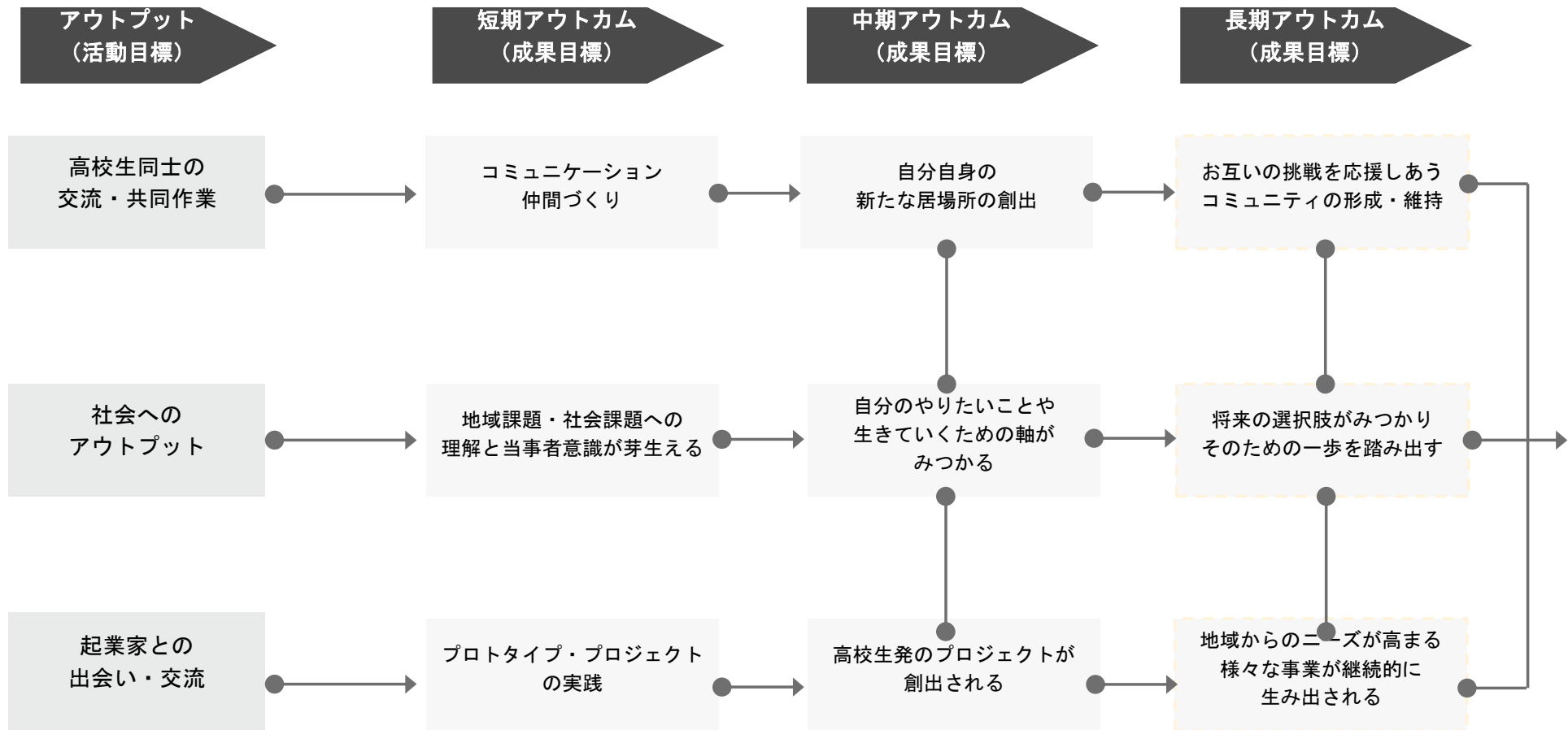
2

つの実践

- ドローンで描く未来 ソラタカ
- “社会とつながる“空き教室”リノベーション

●社会とつながる教室プロジェクト概要

生み出したい社会的インパクト



未来を自分たちの手で創造する自己実現力

●「社会とつながる教室」をともに創っていただける企業様を募集しております

～「やりたい」をカタチにする企業連携アイデア～ 下記の授業へ参画してもらえませんか！？



① 出会う授業

興味を広げる・好きに出会う

- ▶ 経営者だけでなく、若手社員や多様な職種による「リアルな働き方」トーク
- ▶ 普段は見られない企業の裏側へ潜入するバックヤード・見学ツアー



② 深める授業

自分の軸をつくる

- ▶ 「若者が地元に残るには？」など、企業が実際に抱える「リアルな問い」の提供
- ▶ 高校生と社員が混ざり合い、世代・立場を超えて意見をぶつけ合う哲学対話



③ やってみる授業

実践する・実装する

- ▶ 高校生とともにプロジェクトを創出し取組むところまで実践



企業版 ふるさと納税

上記の授業や高校生の活動を土台で支え後押しをしていただく企業版ふるさと納税

 他にも連携できることを協働で模索できればと思います。皆様のアイデアをお聞かせください！